

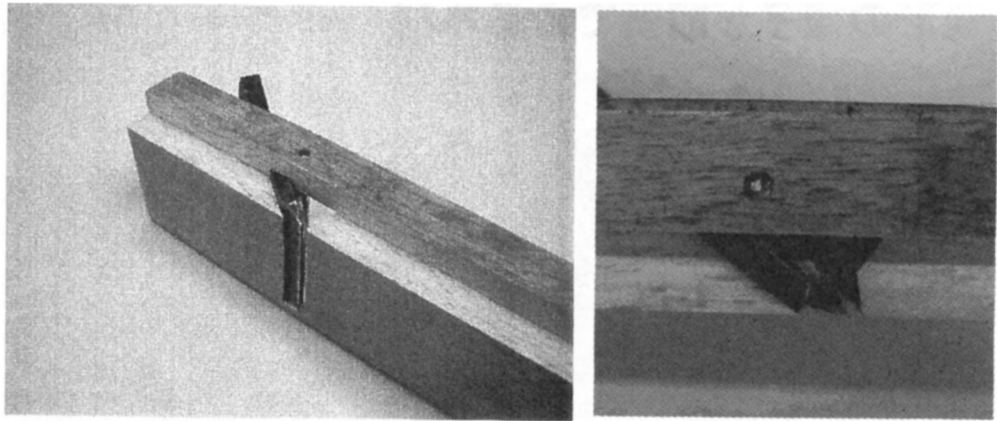
2 切削状態の見えるかな

(1) 教材の特徴

- ① 1枚刃のとき、先割れがおこる状態が観察できる。
- ② 2枚刃のとき、かななくずが裏金の切れ刃面で折り曲げられ、先割れが小さくなることが観察できる。

(2) 使用方法

削り面を厚くすると、削りながら観察できないので、削りやすい材料のこば面を薄く削りながら観察する。



3 かな身を抜く原理を把握する装置

(1) 教材の特徴

- ① かな身の仕込み角とかな頭をたたくと抜けることが確認できる。
- ② くわやのこぎりの柄の仕掛け方を合わせて確認できる。

(2) 使用方法

この教具の台がしらをたたくと、かな身が打つ方向の反対方向に動くことを確認する。

次に台じりをたたいても同様に反対方向に動くことを確認する。

「慣性」が認識できたら、「くわ」「のこぎり」「げんろう」の柄は、どのようにして仕掛けるのかを考えさせることで、いっそう認識を確かなものにすることができる。

